

2022/4/21

(オマケの英語教室 woman) 書庫版



キャリアウーマン (carrier woman) という言い方があります。

しかし自分の感覚ではこの言葉を聞く度にどうしても違和感を覚えてしまいます。

当然口にすると皆様方が思うであろう「キャリア」の部分にはではなく「ウーマン」の部分に対してです。

何故かと申しますとこの woman という英単語は自分の感覚で恐縮なのですが「女性」ではなく

「女」

と極めて不躰な言い方をしている様にしか聞こえないからです。

キャリアウーマンと耳にすると「経歴女」と言っている様にしか聞こえないのです。

例えば this woman と言えば「この女 (あま)」で this lady と言えば「こちらのご婦人」という感覚の差です。それ位違って聞こえるのです。

我が国のメディア等で carrier woman (キャリアウーマン) と記せば内心では無意識に「職歴豊富な女性」で woman を「女性」と訳している積りなのでは外国の人が聞いたら矢張り「職歴女」にしか聞こえていないのではなかろうかと心配になってしまいます。

例えばキャリアウーマン (carrier woman) という文字に接した折に

Carrier scamming (faking) woman 「職歴詐称女」とう犯罪者もどきの輩を外国人さんに連想想起させてしまっているのではなかろうか? 等です。

「ならばトイレで for men (男性用) とか for women (女性用) とか書いてあるけれどあれはどうなるんだ? 理屈に合わないじゃないか」

と言われそうですが、是迄の自分の観察では、ちゃんとしたホテルのトイレには for men や for women ではなく for gentlemen (gents) や for ladies と書かれているか又は男性と女性を表すイラストマークがついているだけで決して for men, for women とは書かれてはおりませんでした。

しかし確かに街中のトイレには for men とか for women と書かれているのも事実。

では何故そうなっているのか？

是又自分の想像ですがホテルと違って街中、特に英語圏以外の街中ではどんな英語レベルの人が歩いているか分かりません。

そこで gentleman の複数形 gentlemen ならまだしも lady の複数形 ladies だとそれが lady を表している事が分からない方がいらっしやる可能性もあるので、英語が堪能でない或いは日頃余り使わない方にも分かり易い様に敢えて誰でもが知っている可能性がより高い for men, for women と記しているのではなかろうか？など。

因みに洋服は men`s fashion では「男服」に聞こえてしまいますので是は male wear(clothes)の方がいい様な気がします。是なら「男性用ウェア」を意味しますので。

又女性用なら female wear(clothes)の方が耳に優しく素材も柔らかそうに感じられて、より適切で効果的にもいい様な気がします。

処で上述の項で敢えて fashion という英訳をしなかったのですが是は外国の方は個別一品毎の具体的な表現の方が多く余り fashion という謂い方をされない事と fashion というのは昔一部知識人の間で流行った「ファッショ (全体主義)」の語源の様な感覚もあるからで外国の多方面の方からの誤解を避ける上で敢えてこの記事では fashion という語の使用を避けました。

(ファッショの語源が fashion であるか否かに関してはちゃんと調べた訳ではなく飽く迄も自分の感覚からです)

ので、悪しからず。